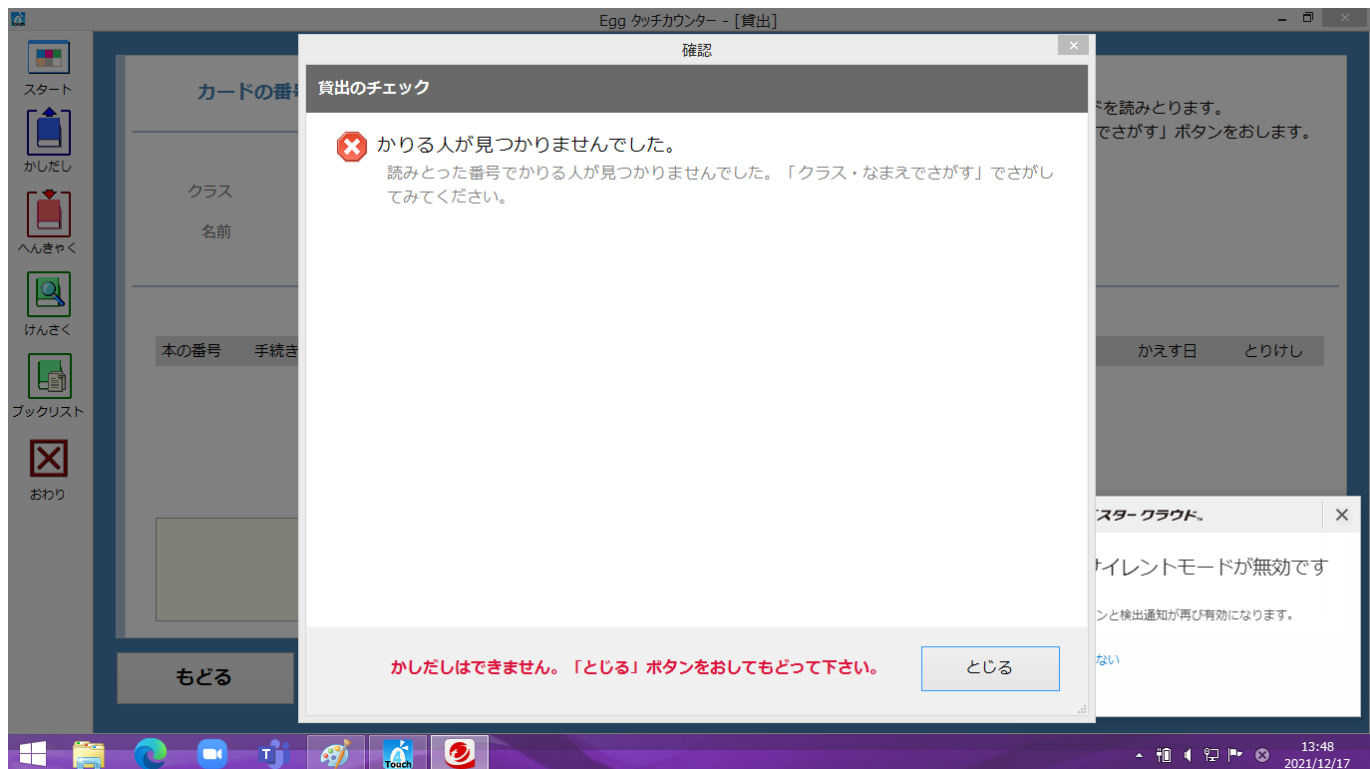


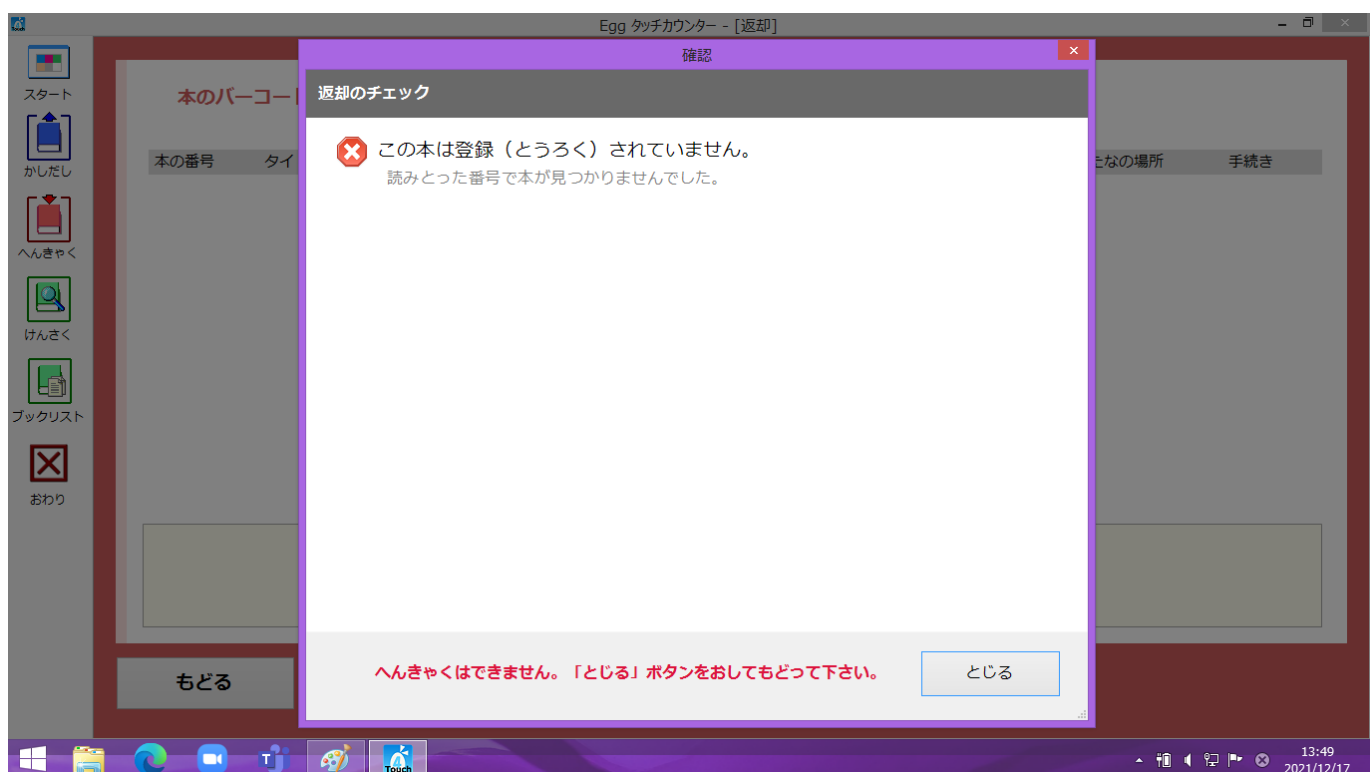
子機がデータベースにアクセスできなくなったとき

エラーの例

「かしだし」で児童・生徒の氏名バーコードを読み込んでもその子を認識しない



図書のバーコードを読み込ませても登録されていないというようなエラーが出る



★ ある程度コンピュータの取り扱いに慣れた方に作業をお願いしてください

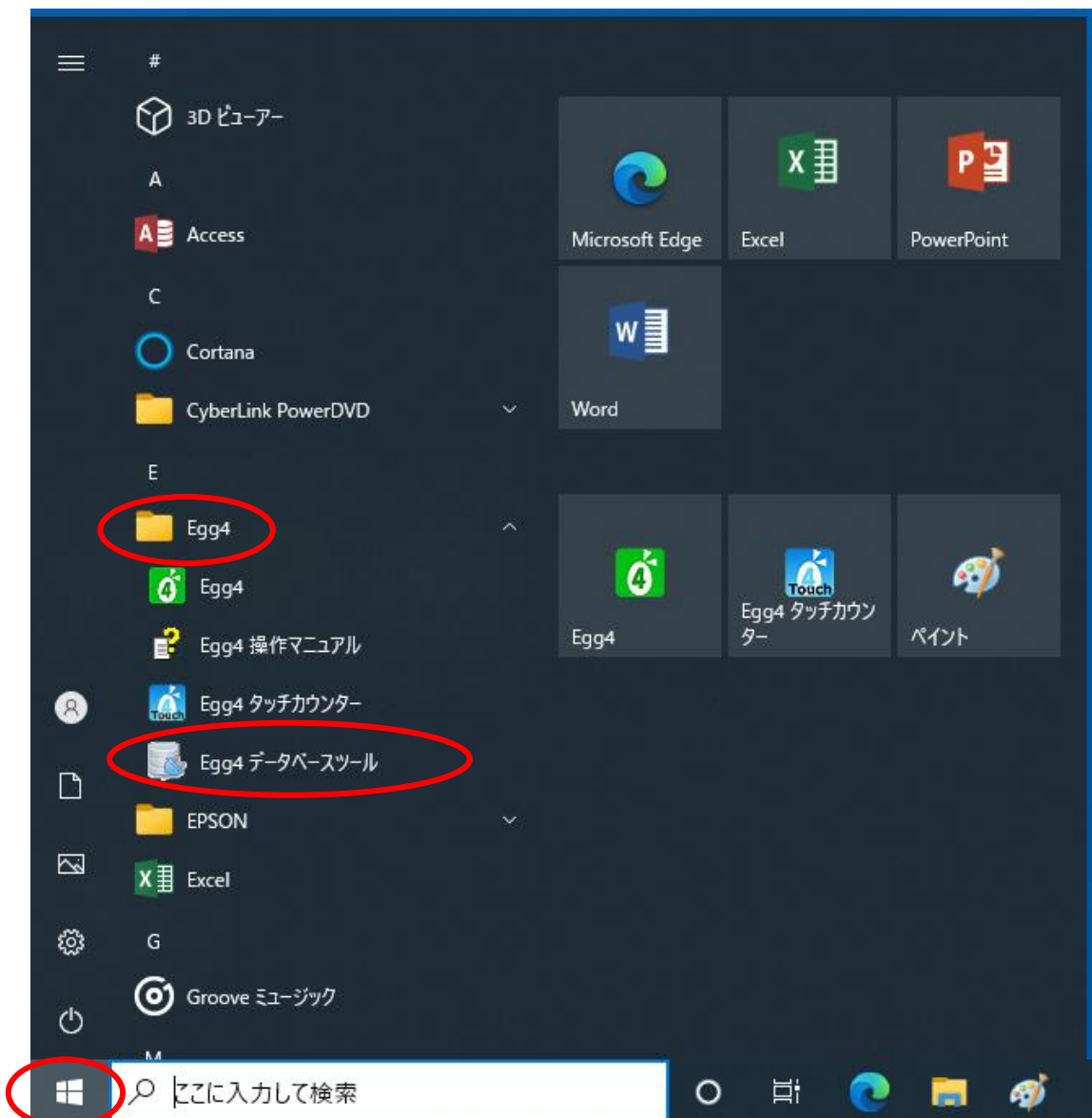
※ まず親機で 「データベースの修復」 を行ってみる → これで解消することもある

1 作業を行う前に準備しておくこと

- 親機の電源を入れて、最初のウィンドウズ画面が表示されている状態にする（Egg4は起動させていなくてよい）
- 各種ケーブルの接続や黒い箱型のHDDの電源が入っていることも確認する
- 不調になった子機を起動させ、ネットワークがつながっていることを確認する（インターネットがつながればOK）

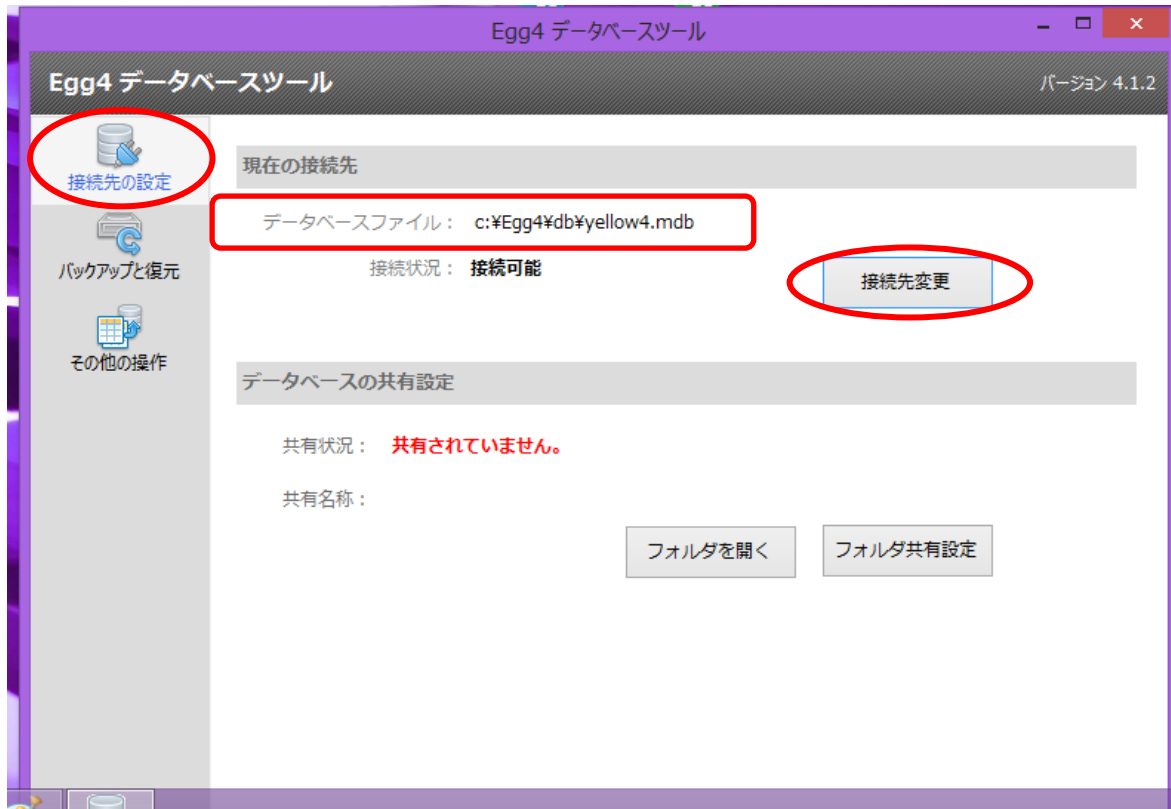
2 不調になった子機のEgg4 データベースツールを起動する（管理者パスワードが必要）

ウィンドウズのスタート → Egg4 → Egg4 データベースツール をクリック

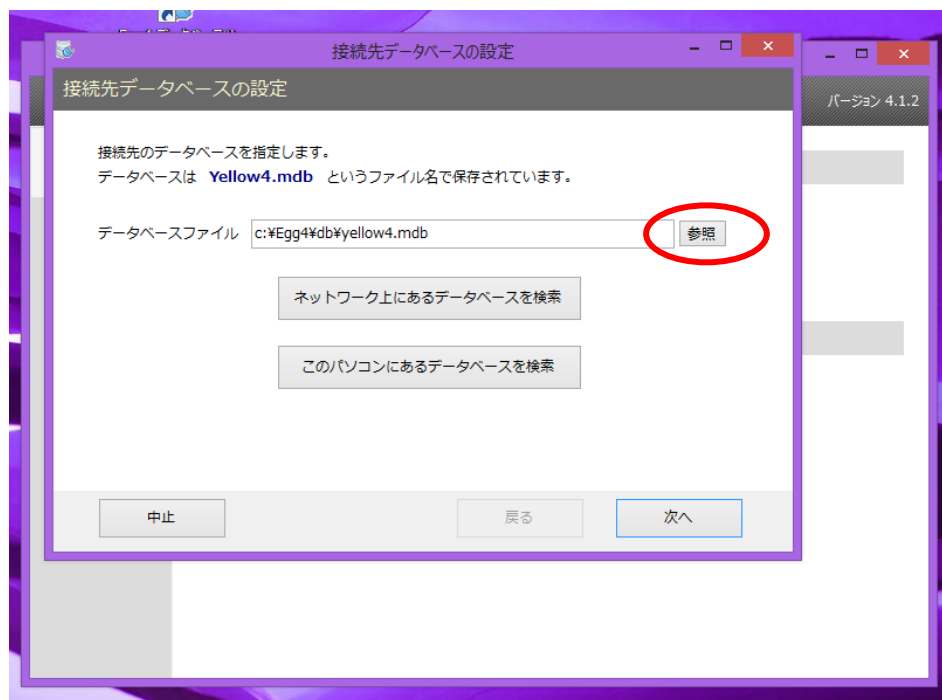


- 3 「接続先の設定」 の 「現在の接続先」 の データベースファイルを確認する
不調な子機の画面だと「C:¥Egg4¥db¥Yellow4.mdb」となっていることが多い
これは親機内のデータベースファイルでなく、子機自身の中のデータベースファイルを見ていることになる。しかし、子機のデータベースファイルにはなにも入力されていないのでエラー状態になる

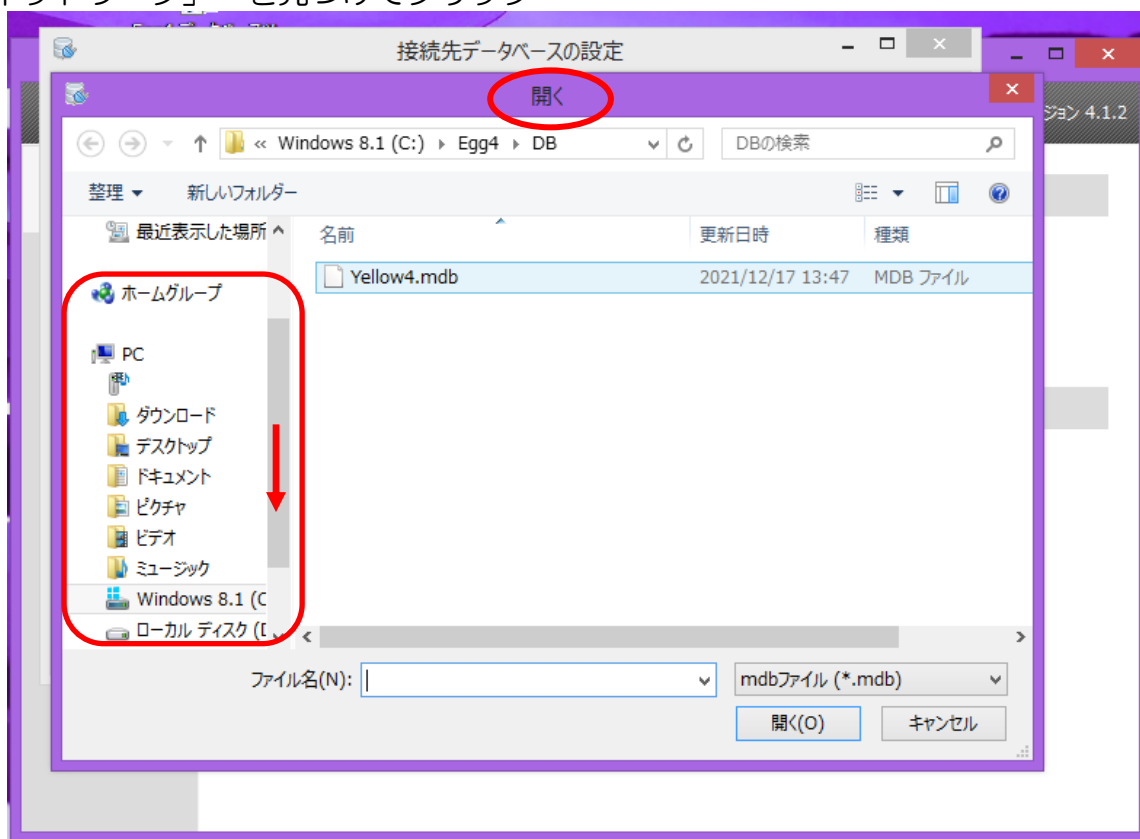
ここで 「接続先変更」 をクリック



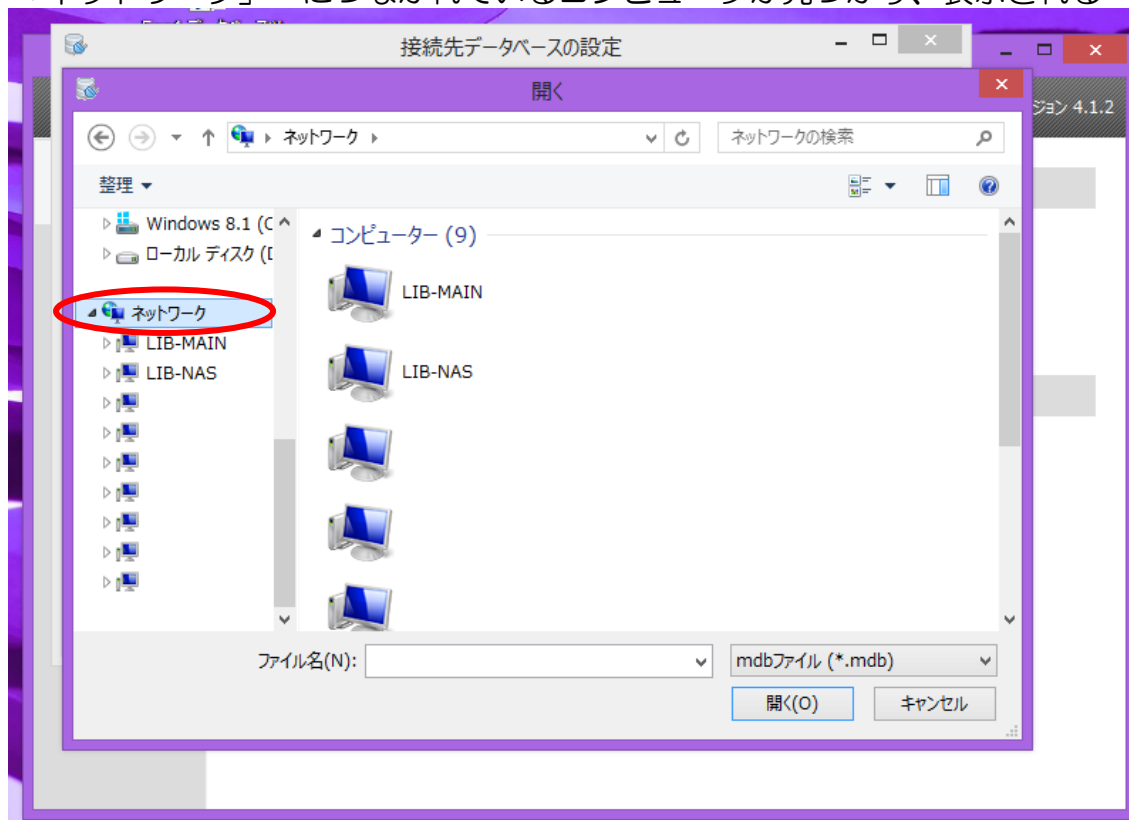
- 4 「参照」をクリック



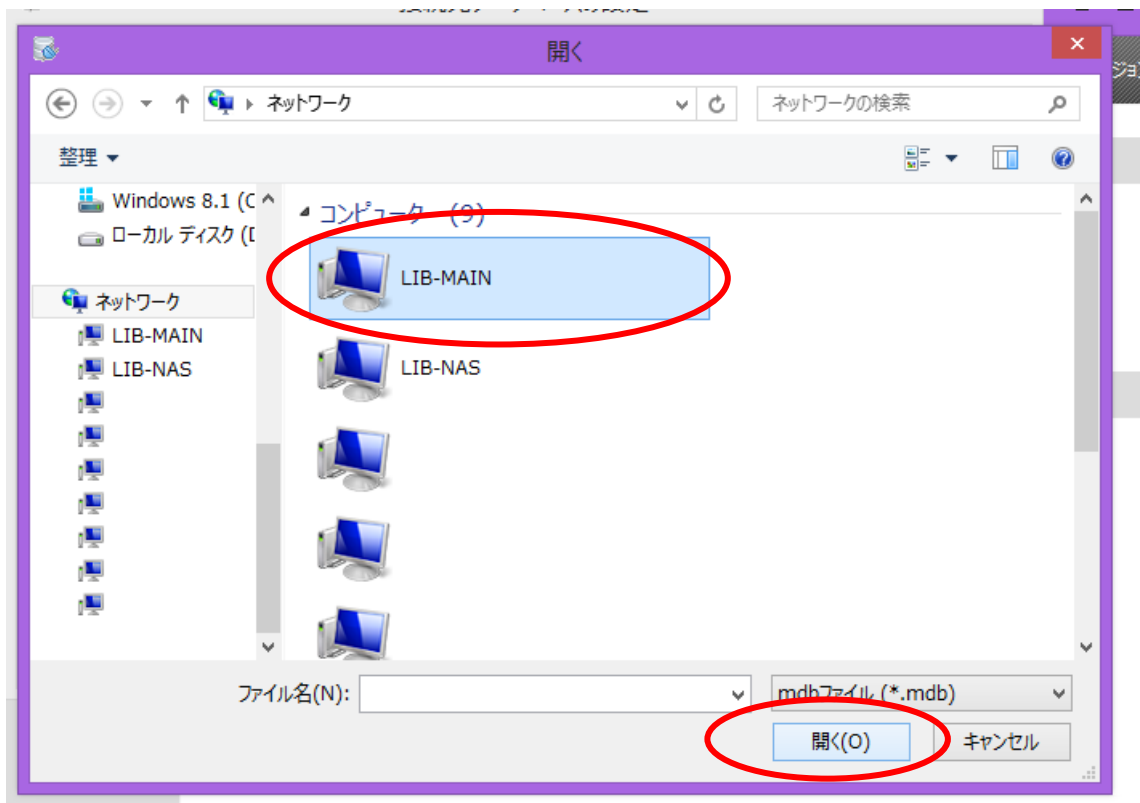
- 5 子機の中を見ている画面になるので、「開く」ウインドウ左下の画面で下にドラッグし、「ネットワーク」 を見つけてクリック



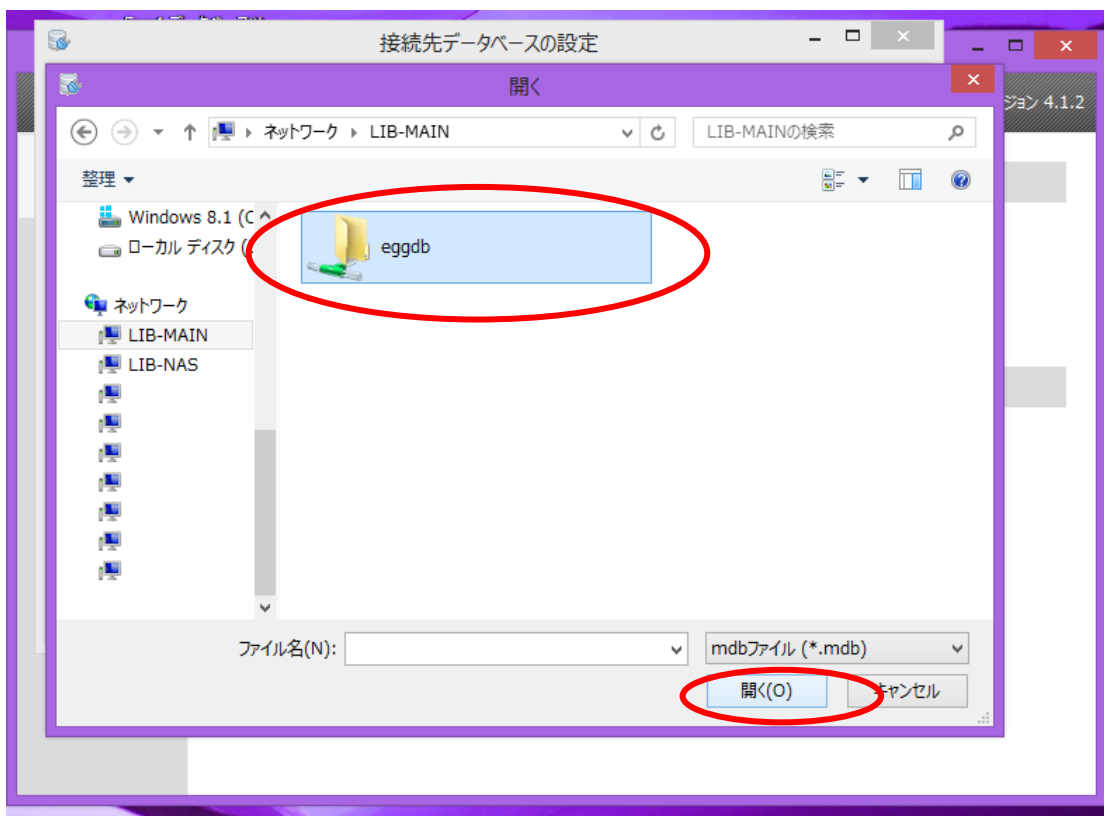
- 6 「ネットワーク」 につながれているコンピュータが見つかり、表示される



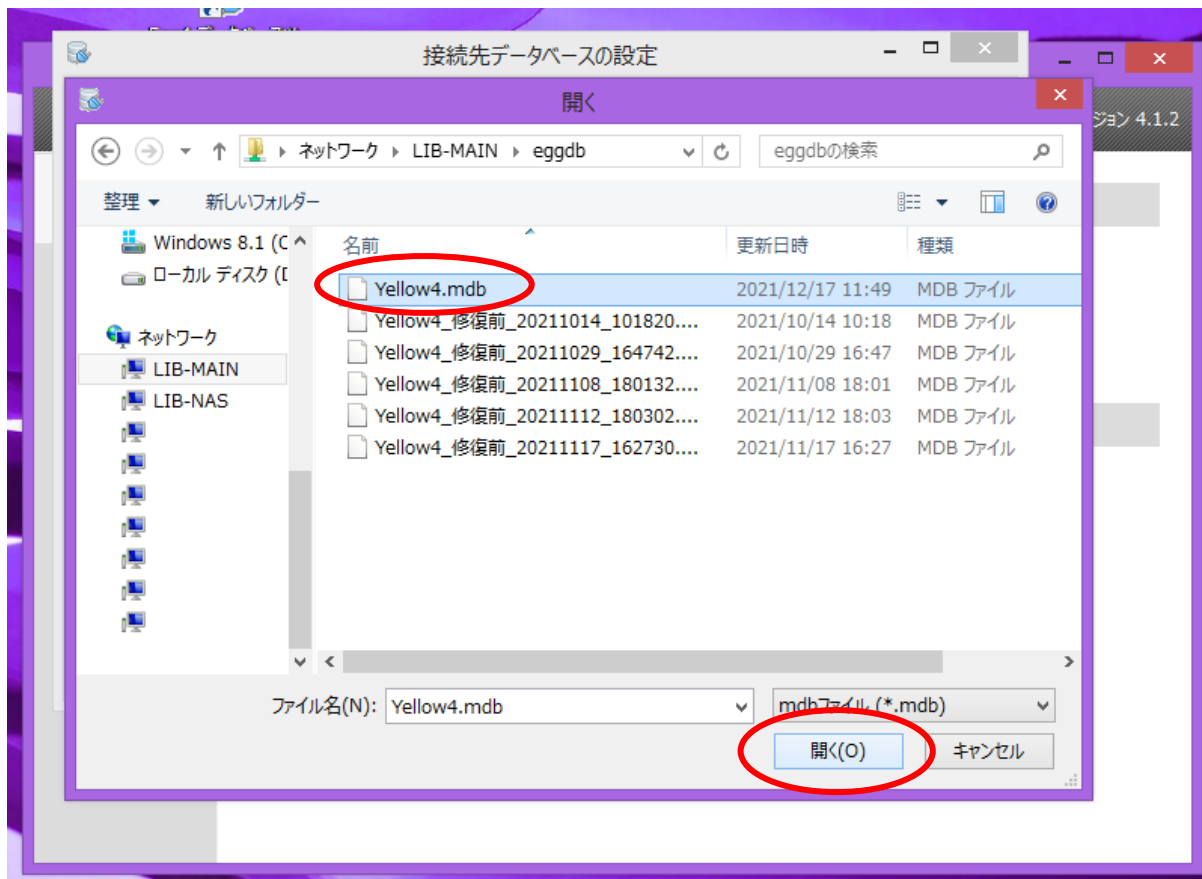
- 7 この中の 「LIB-MAIN」 (小文字の lib-main の場合もあるかも) をクリックして「開く」をクリック



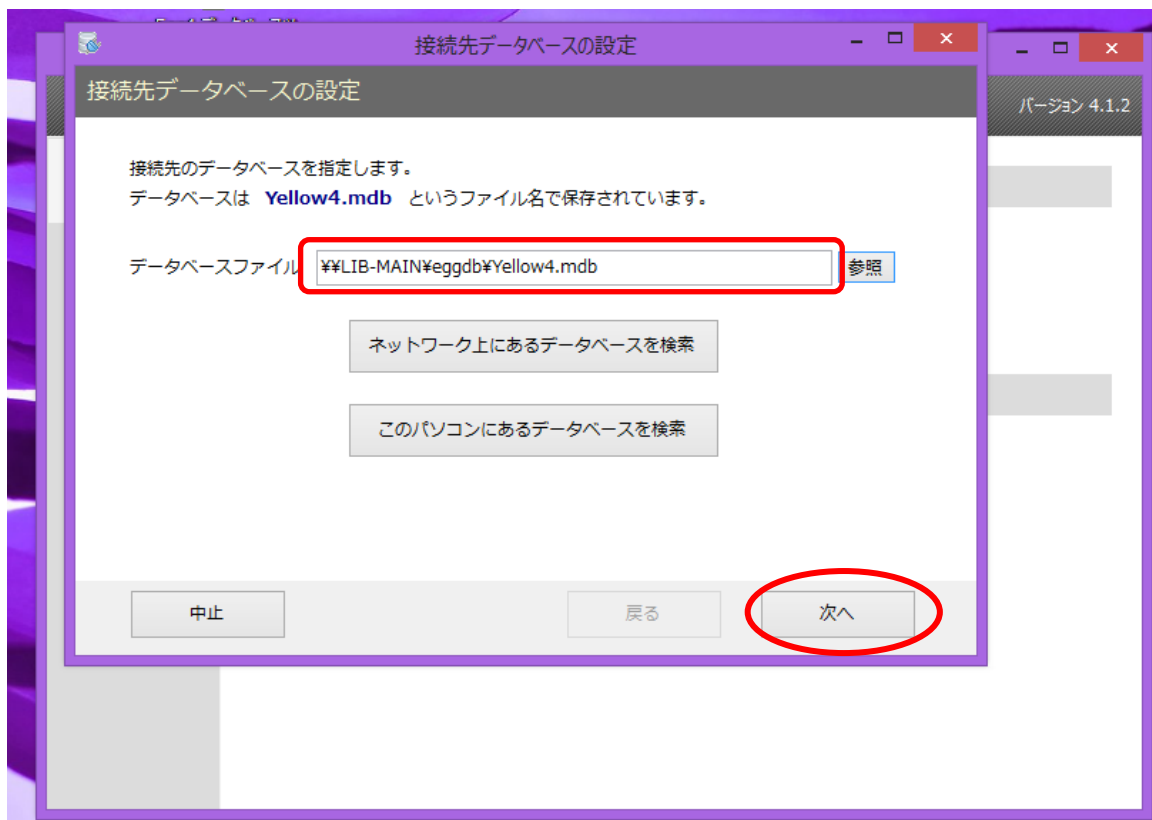
- 8 「eggdb」 をクリックしてから 「開く」 をクリック
(¥¥LIB-MAIN¥¥egg4¥¥db などの場合もあります)



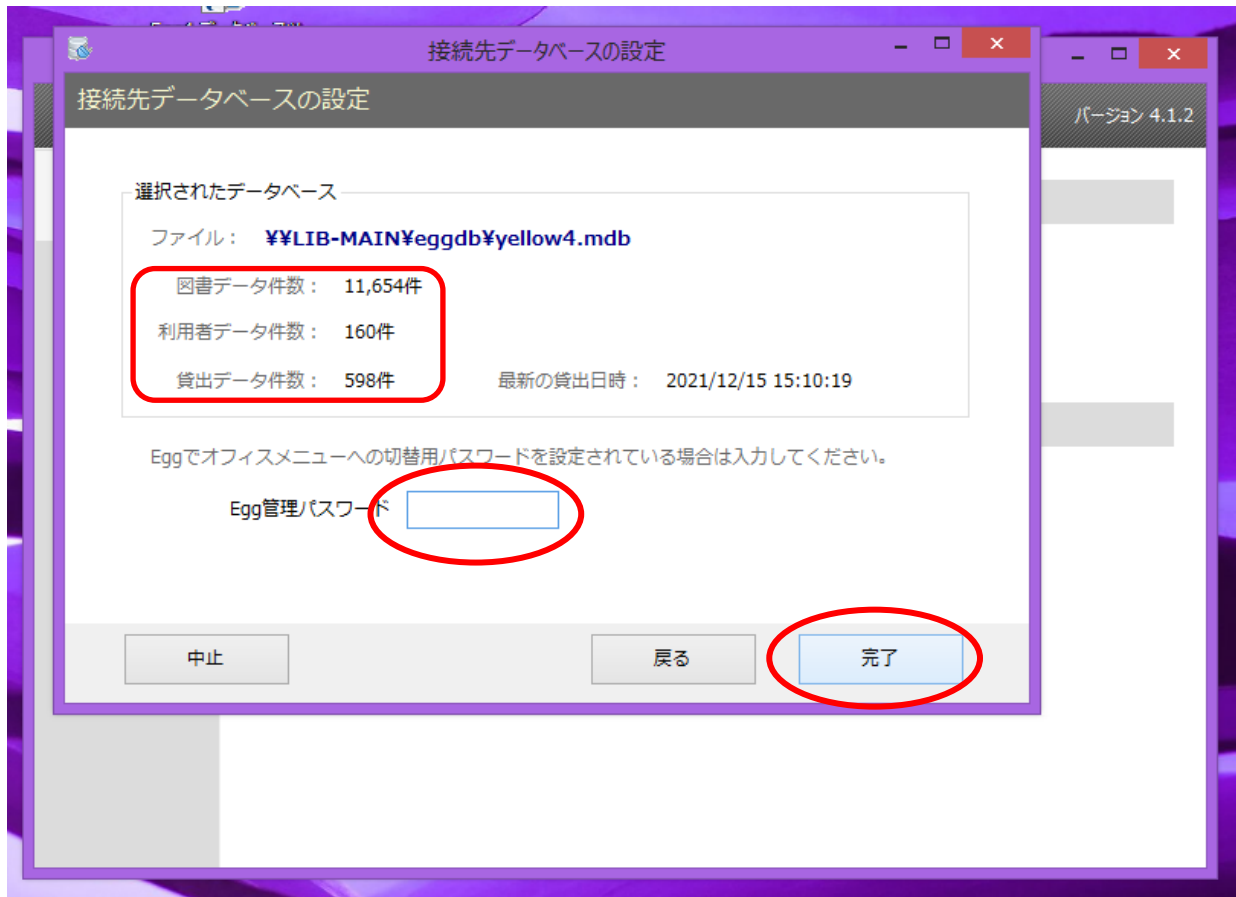
- 9 表示されたファイルの中から 「Yellow4.mdb」 をクリックしてから 「開く」 をクリック



- 10 データベースファイル欄に 「¥¥LIB-MAIN¥eggdb¥Yellow4.mdb」 が表示されたら 「次へ」 をクリック



1.1 「図書データ件数」などデータベースの読み込みが終わったら Egg 管理パスワードを入力し、「完了」をクリック



1.2 右上の × をクリックして「Egg4 データベースツール」を終了させる
その後、子機のEgg4 や Egg カウンター を起動させて正常に作動すれば OK

